ロシア連邦

連邦法

連邦法「地下資源について」の改正について

国家院（下院）採択 2024年7月9日

連邦院（上院）承認 2024年7月17日

ロシア連邦の1992年2月21日付法律第2395-1号「地下資源について」（1995年3月3日付連邦法第27-FZ号による改訂版）（ロシア連邦人民代議員大会およびロシア連邦最高会議公報、1992、No. 16、掲載番号834;ロシア連邦法令集、1995、No. 10、掲載番号823 ; 2008、No. 18、掲載番号1941 ; No. 29、掲載番号3418 ; 2011、No. 49、掲載番号7042 ; 2012、No. 53、掲載番号7648 ; 2015、No. 1、掲載番号11、12 ; No. 27、掲載番号3996 ; 2016、No. 27、掲載番号4212 ; 2017、No. 31、掲載番号4737、4766 ; 2019、No. 44、掲載番号6176 ; No. 52、掲載番号7823 ; 2020、No. 24、掲載番号3753 ; 2021、No. 18、掲載番号3067 ; 2022、No. 14、掲載番号2188 ; No. 27、掲載番号4619、4629 ; 2023、No. 1、掲載番号45 ; No. 29、掲載番号5314 ; 2024、No. 1、掲載番号37）に以下の変更を加える：

1) 第9条に以下を内容とする2つの項を追加する：

「幹線石油パイプライン・石油製品パイプラインおよびそれらの不可分の技術要素の建設、改修、大修理作業を実施する、石油および石油製品の幹線パイプラインによる輸送分野の自然独占主体は、本法第2条の3第1項第1号に掲げられ、本法第10条の1第1項第7号第10段落にしたがって利用に供される地域的意義を有する鉱区（地下区画）の地下資源利用者になることができる。そうした幹線石油パイプライン・石油製品パイプラインの一覧はロシア連邦政府によって承認される。

「幹線ガスパイプラインおよびその不可分の技術要素の建設、改修、大修理作業を実施する、ガスの幹線パイプラインによる輸送分野の自然独占主体は、本法第2条の3第1項第1号に掲げられ、本法第10条の1第1項第7号第11段落にしたがって利用に供される地域的意義を有する鉱区（地下区画）の地下資源利用者になることができる。そうした幹線ガスパイプラインの一覧はロシア連邦政府によって承認される。」；

2) 第10条第2項に以下を内容とする第5号の2を追加する：

「5の2）本連邦法第2条の3第1項第1号に記載され、本法第10条の1第1項第7号第10および11段落にしたがって利用に供される地域的意義を有する鉱区における遍在有用鉱物の探鉱および採掘のため一幹線石油パイプライン・石油製品パイプライン・ガスパイプラインおよびそれらの不可分の技術要素の建設、改修、大修理の実施期間中；

3) 第10条の1第1項第7号に以下を内容とする2つの段落を追加する：

「幹線石油パイプライン・石油製品パイプラインおよびそれらの不可分の技術要素の建設、改修、大修理に関する作業の実施に必要な遍在有用鉱物の探鉱および採掘を目的とした、本法第2条の3第1項第1号に掲げる地域的意義を有する鉱区の利用権の、競売の実施なしでの供与に関する決定；；

幹線ガスパイプラインおよびその不可分の技術要素の建設、改修、大修理に関する作業の実施に必要な遍在有用鉱物の探鉱および採掘を目的とした、本法第2条の3第1項第1号に掲げる地域的意義を有する鉱区

の利用権の、競売の実施なしでの供与に関する決定；」；

4) 第18条第3項の「第7号第9」という文言を「第7号第9～11」という文言に差し替える。

ロシア連邦大統領

V.プーチン

モスクワ、クレムリン

2024年7月22日

第205-FZ号